

No. 1 Aさん	23歳（女性）
I. 前就労期（学歴, 職歴, 生活習慣, 対人行動, 気持ち） <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校の頃, 食品店でバイト経験。しかし「消極的」で店の店長とうまくやれず辞めた。 ・ その後服飾系の大学に入り, 一人暮らし。22歳に卒業。 	
II. 未就労期（きっかけ, 生活習慣, 対人行動, 気持ち, 継続要因） <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業時に就職活動をせず, 実家に戻る。 ・ 「どうにかしないと」と思うも行動に移せず。人に会うこと, 働くことが「すごく怖かった」。 ・ 生活は不規則。親は働いて欲しかったよう。本人もそれはわかっていた。 	
III. 被支援期（きっかけ, 支援内容とその長短, 影響や変化, 気持ち） <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立塾を新聞で見て, 自分で問い合わせ。自信をつけて帰ってこようと思って入塾。 ・ 最初の頃は「のほほん」とした雰囲気, カリキュラムをこなすだけで気楽。 ・ 期限がせまり, このまま帰宅しても仕事を始めるかどうかをスタッフに心配され, もう3ヶ月自立塾を延長。自分はそのまま帰ってもよかったと思っていた。 ・ 追加3ヶ月の最後の二週間で食品工場でアルバイト。精神的には不安定。その後帰宅。 ・ 塾の友達とはたわいもない話しをしていた。塾のみんなもがんばっていたので頑張った面もある。その友達とは今でもメールや遊んだり。ストレス解消になっている。 ・ 支援の長所は, 同じ境遇の人がいて, 人に会うことになれて, 怖くなくなった点。 	
IV. 現在（就労のきっかけ, 気持ち, 成長可能性, 今後の考え） <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰宅後, 疲れと開放感でしばらく動けず。3ヶ月後に求職しはじめる。 ・ その後数件面接に行くが, 採用されず。やがて, 塾在籍時に通った工場の系列工場に採用（初めは避けていた）。立ちっぱなしで「足が内出血する」など苦しい。「自分から入ったんだし」と思い, 続けている。付き合いづらい先輩とは, 食堂では離れて食事している。 ・ 長所は「コツコツ続ける」。学校の先生に「頑張りやさん」と評価も。将来は洋服販売員になりたい。 	